

「ヒューマンライブラリー 視覚障がい者編」を開催しました

- ✎ 日時:11月25日(土)10:00~12:00
- ✎ 場所:「ほっと越谷」セミナールーム
- ✎ 参加者:24名(女性14名、男性10名)
- ✎ 主催:ロービジョン友の会 アリス

【内容】

ヒューマンライブラリーは、障がい者や社会的少数者への理解を深めるためのイベントです。障がい者等を生きた「本」に見立てて、読者になる参加者が選んだ「本」の体験談を聞いて、気軽に「本」との会話を楽しめるユニークな試みです。ヒューマンライブラリーを知っている方はまだ多くはありませんが、デンマークで始まり、日本では大学のゼミ等が積極的に開催して、全国に広まってきました。今回は、視覚障がい者、その家族や支援者が「本」になりました。



【参加者の感想】

- ・講演ではなく、話し手(本)との対話も入るヒューマンライブラリー、いいですね。全員の話を知りたかったのが残念です
- ・全体で1人の話を聞くのかと思っていたので、いくつかのグループに分かれて、少人数だったのがよかった
- ・ふだん話が聞けないような話が聞けた。貴重な時間だった
- ・「夫が突然、障がい者に」、「涙と笑いの20年」の話を知り、本になった方の行動に感心しました
- ・障がい者本人が本となり、講座を進めるという大変ユニークな催しが、楽しく、また参考にになりました。(実際の)本では感じられないような印象もたくさんあり、すばらしかった